

## 別な世界はまだ可能か

Is Another World still Possible?

高橋悠治

Yuji Takahashi

デジタル化された論理

知らずに身についた電子的思考

非中枢メディア 電子ネットワークに

来たるべき社会の兆しが見えるのか

あまりに楽観的な

ハードウェアもソフトウェアも アリストテレス以来の二進法論理

すべての要素は列挙範囲のなか 定義済の操作でうごく

論理がさき 運動があと

そこから漏れたこと はずれた位置 定義されなかった作用が

あらわれたらどうなる

中心がなく すべての要素が平等に 構造を担えるはず

それなのに

類度の偏り 順位 中心と周辺 権力の集中は なぜ

全要素間相互アクセスが可能なら

無用な接触が多く

うごきをさまたげ エネルギーはうしなわれる

すべての要素が見透かされるパノプティコン

外から監視されていても 内では自由選択のつもり

閉じた部分で自由運動は加速する

生産のための生産 消費から浪費へ

必要なく拡大し 自己破産する

コンピュータの夢は 資本主義に囲い込まれた仮想空間の自由

部分運動は線的に発展し 時間は連続で

現在の延長が未来になると思われる時期もある

限界の向こう側にある 偶然 事件 カタストロフィー

ルクレティウスのクリナメンは 理由もなく

アリストテレス的論理の外側から顕れる

わずかな偏りが 平行に墜ちる粒子の雨をかき乱し

衝突 反発 回避

多様な現象がそこで生まれ

現象の相互作用から 別な世界が一瞬にして創られ

可能性は 権力をやりすぎす

不規則に瞬く 流れ

折り畳まれ また ひろがる雲の織地